



長崎看護学

同窓会便り No.5

平成 21 年 11 月 23 日発行

連絡先

電話・FAX 095-819-7947

同窓会事務局 浦田

会長あいさつ

会長：下田澄江

紅葉の候 同窓会員の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと思います。
昨年度総会で加藤奈智子前会長から引き継いで長崎看護学同窓会長を務めさせていただくことになりました。前会長はじめ役員、理事、そして 3000 余名の会員の皆様のお力添えをいただき微力ではございますが、同窓会の発展にむけて力をそそいで参りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

同窓会の目的として会員相互の親睦と母校の発展に寄与することが謳われていますが、今年度は前会長が 100 年記念事業として設置された研究奨励賞に 4 名の方が受賞されることになりました。また同窓会便りも母校の状況や会員の様子をできるだけ多く皆様にお伝えできるようにと内容を充実させました。長崎を遠く離れてご活躍されている会員の皆様や地元でいつもご支援いただいている方などのお便りもお伝えできるようにさらに充実させていきたいと思ひます。

「継承および発展」を理念とし、老若男女に魅力ある同窓会にしていきたいと思ひますので忌憚のない皆様方のご意見とご支援をいただければ幸いです。

同窓会員数（現在）

総数	3,328 名
養成所	328 名
厚生女学部	155 名
看護学校	1,339 名
医療短大	1,201 名
保健学科	305 名
修士課程	5 名

平成 20 年度庶務報告・会計報告

1. 平成 21 年度同窓会入会者 72 名

2. 経過報告

1) 同窓会総会 H.20.11.23

2) 理事会開催 4 回

3) 慶弔 ・3 月 医学部保健学科卒業式 お祝い生花寄贈

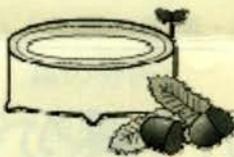
・8 月 長崎大学原爆慰霊祭にて看護学同窓会より
献花（下田会長）

・物故者へ弔電

・久松シソノ名誉会長追悼舞台公演へ生花寄贈

4) 看護学研究奨励賞運営 5) 看護学同窓会便り発行

※会計報告は総会当日資料にて行いますが、会の発展の為、募金へのご協力を何卒宜しくお願ひ申し上げます。



物故者ご氏名

平成 21 年度にお知らせ頂いた方を掲載しております。

養成所	18 期生	久松シソノ様	平成 21 年 1 月 9 日
養成所	23 期生	吉川カズコ様 (旧姓：吉武)	平成 21 年 8 月 14 日
養成所	23 期生	穂山 末子様	平成 21 年 5 月 18 日
厚生女学部	1 回生	榊原 絹恵様	平成 20 年 11 月 29 日
厚生女学部	1 回生	田端 幸子様 (旧姓：戸田)	平成 20 年 4 月 24 日
看護学校	1 回生	河本 令子様 (旧姓：中島)	平成 21 年 7 月 2 日
看護学校	14 回生	佐野他可子様	平成 21 年 2 月 12 日
看護学校	26 回生	上妻久美子様	平成 21 年 10 月 10 日



同窓会総会における諸行事の紹介

- 平成11年 講演「介護保険制度について」大角明子様（看学11回生）
 平成14年 看護教育100年記念事業講演
 「西洋医学の種を蒔いた人々」増崎英明先生
 「人生の備えと構え」金子真介先生
 平成16年 講演「被爆体験を語る」宮崎トミホ様（養成所19期生）
 平成18年 平成17年度看護学研究奨励賞受賞論文発表
 岡田みずほ様（医短4回生）
 講演「長崎大学紹介」齋藤寛長崎大学長
 平成19年 講演「新病院紹介」下田澄江（看学20回生）
 平成20年 平成17年度・18年度看護学研究奨励賞受賞論文発表
 野村亜由美（准会員）、中尾理恵子（医短3回生）
 平成21年 平成19年度看護学研究奨励賞受賞論文発表
 山崎真紀子（医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻7回生）、大石和代（看学27回生）

平成21年度長崎看護学同窓会理事

役職名	氏名	卒業回
会長	下田 澄江	看学 20
副会長	浦田 秀子	看学 21
	勝野久美子	看学 27
書記	田添 京子	看学 22
	中尾理恵子	医短 3
会計	田辺 裕子	看学 23
監査	土屋 滋子	看学 13
	高橋 眞弓	看学 25
学 外 理 事	吉田 恵子*	保健学科 1
	橋村 洋子*	看学 14
	大神 英世	看学 4
	平湯 路子	看学 6
	鶴嶋 葉子	看学 7
	竹田 茂子	看学 8
	山口 則子	看学 15
	久松千鶴香	看学 26
	学 内 理 事	森藤香奈子*
福田 昌恵		看学 34
中村千代美		看学 36
内野 友恵*		保健学科 1
張川 恭子		医短 10

*印は新理事

募金のお願い

平成18年度の総会にて同窓会終身会費の値上げが承認され、19年度卒業生から5千円を納入して頂いております。既会員の皆様には差額の3千円を募金の形でご協力頂ければ幸甚に存じます。

【振込先】郵便局 記号 17680

番号 22216361

加入者名：看護学同窓会

代表：下田澄江



編集後記

一年に一度の同窓会便りということで、お伝えしたい事が多く、今年は容量が増えております。今後も長崎看護学同窓会の今をより知って頂けるよう作成を続けていきたいと思っております。

田島純子（医短10）

張川恭子（医短 3）



卒業生便り

保健学科看護学専攻 3 回生 五反田 三和
(勤務先：国家公務員共済組合連合会虎の門病院)

私は現在、虎の門病院で看護師として働いて 2 年目になります。私が勤務している病棟は、消化器外科と呼吸器外科、呼吸器内科の混合病棟です。患者様も急性期、慢性期と様々で、連日の手術に加え、人工呼吸器の管理や、急患も多く忙しい病棟ですが、その分学ぶことも非常に多い毎日です。働いていて大変なこともあります、休日は友人と出かけ、リフレッシュしながら楽しく仕事をしています。医療の場は日々刻々と変化し、人間の命と向き合う分責任も重く大変ではありますが、涙も笑顔もあふれたとても人間らしい場だと思います。看護師という素晴らしい職業につき、一人の看護師として、また一人の人間として日々成長していきたいと思っています。

保健学科 3 回生 堀田直孝
(勤務先：長崎大学病院)

卒業後ここ長崎で看護師をスタートした 2 年前、辛いこともありましたが、スタッフ、患者さん、そして 4 年間の学生生活でできた多くの仲間、先生方の存在に支えられ、今、看護師 2 年目を迎えることができました。このようなたくさんの大切な出会いの中で成長していける自分を、本当に幸せに感じています。この出会いに応えるためにも、もっともっとがんばって素敵ナース目指して走り続けたいと思います。

長崎看護学研究奨励賞

長崎看護学研究奨励賞は今年で 5 年目を迎えます。本年は嬉しいことに県内外より 6 題の応募があり、そのうち 4 題が受賞演題として選定されました。募集に際しましては、多くの皆様にご支援・ご協力をたまわり感謝申し上げます。今年の総会では、授賞式とともに昨年授賞された方の研究発表を予定しています。

〈本年度受賞の研究課題〉

- 1) 「急性呼吸不全患者への NPPV 継続のための看護ケアと臨床判断に関する研究」
村田洋章 (東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 先端侵襲緩和ケア看護学分野 博士 (前期) 課程)
- 2) 「精神科で働くことの困難さとソーシャルネットワークとしてのピアサポートに関する研究」
若浦雄也 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻健康推進看護学分野修士課程)
- 3) 「3 回の流産・死産・新生児死亡を経験した両親が新たな妊娠・出産を受け入れていく心理過程の分析」
赤星衣美 (長崎大学病院 6 階西病棟)
- 4) 「当院 ICU における看護実践能力習熟評価システム構築に関する研究」
川上悦子 (長崎大学病院 集中治療部)

〈総会での発表予定演題〉

- 1) 「北関東における日本人母親の母乳育児継続要因に関する研究」
(山崎真紀子：長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座)
- 2) 「助産制度利用者の現状と母子保健上の問題点に関する研究」
(大石 和代：長崎大学医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座)

平成 22 年度も引き続き募集いたしますので、ふるってご応募いただきますようご案内申し上げます。平成 22 年度の応募期限は平成 22 年 7 月 20 日です。応募要領、申請書など詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：勝野久美子 長崎北病院 Tel : 095-886-8700

e-mail : kita_k_katsuno@shunkaikai.jp

久松シソノ同窓会名誉会長を偲んで

下田 澄江

大変悲しく残念なことです。同窓会名誉会長久松シソノ先生が平成21年1月8日脳出血のため自宅で急逝されました。11月23日10時30分から医学部良順会館にて同窓会総会とあわせて久松シソノ名誉会長を偲ぶ会を開催し、ご冥福をお祈りしたいと思います。多くの会員の皆様のご出席をお待ちしています。

久松シソノ先生は昭和60年に長崎大学看護部長を退官されましたが、在任中は看護学校運営や医療技術短期大学部・保健学科設置と母校発展の歴史の折々に多大な貢献をなされました。また退官後も長崎看護学同窓会長、名誉会長としてご指導・ご支援をいただきました。さらに退官後は平和希求活動に取り組みられた功績が認められ、平成17年ナイチンゲール記章を受章、平成20年には長崎大学名誉校友を受けられました。

最後まで凛としたお姿で「世界平和と人類愛」「感謝」を座右の銘とし、偉大な功績を残された久松シソノ名誉会長の教えを忘れることなく、私達同窓会会員一同「人間として、看護師としての社会的責任」が果たせるように努めていくことをお誓いしてご冥福をお祈りしたいと思います。

保健学科看護学専攻4回生の進路

平成21年3月、看護学専攻4回生73名が卒業し、県内外の保健医療機関に72名が就職しました。主な地域は長崎県内に30名、九州地区21名、関東地区17名、近畿地区4名でした。職種は1名が保健師、助産師は5名、66名が看護師として採用されました。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）2回生修了

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）は平成18年4月に開学しました。看護学講座では20年3月に1回生9名、21年3月には2回生5名の修了生を送り出しました。2回生は全員が社会人で仕事との両立でしたが、2年間、課題研究に取り組み、論文審査に合格し、無事全員が修了いたしました。また、5名は看護学校および医療技術短期大学部の卒業生で本同窓会員でした。看護の質の向上を目指し、さらなる活躍を期待します。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻（修士課程）にがん専門看護師、放射線専門看護師コース設置

平成21年度は遺伝看護コース、平成22年度からがん専門看護師および放射線専門看護師コースを設置します。専門看護師は特定の看護分野において「卓越した看護実践能力」を有することを認定される看護職者です。すなわち、看護現場において看護ケアの質の向上を図るために卓越した専門的能力を持つ実践者、スタッフナースへの相談者や教育者、研究者、保健医療福祉ニーズのケア調整者、倫理的課題への調整者としての機能を果たすことが求められます。

がん医療を担う医療専門職養成としてがん専門看護師、被爆県長崎における放射線専門看護師の養成は地域医療等社会的ニーズに対応したプログラムと考えます。専門看護師教育課程基準に基づき、現在、シラバス作成、科目担当者等の調整を行い、開設に向けて備をしております。

今後とも保健学科、大学院の教育・研究にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(文責：浦田秀子)